

マップ面 04 高潮ハザードマップ 全市域版

凡例

- 避難所**
 - 避難所の詳細は情報面04の避難所一覧をご覧ください
 - 津波避難ビルの詳細はマップ面05の津波ハザードマップをご覧ください
- 避難情報の発令の前に開設**
 - 土砂災害
 - 土砂災害のおそれが高まったときに開設
- 洪水**
 - 避難情報の発令時に一斉開設 (警戒レベル3高齢者等避難以上)
 - 高潮のおそれが高まったときに開設
 - 高潮・洪水 どちらかのおそれが高まったときに開設
- 警戒レベル4 避難指示 発令時には津波避難ビルへの緊急一時避難可能**
- その他**
 - 水位観測所
 - 市役所本庁・支所
 - 防災スピーカー
 - アンダーパス
 - 警察署・交番
 - 立体横断施設
 - 消防署

高潮第一発令エリア (国道43号以南)

高潮による被害が発生した場合、すぐに浸水するおそれがあるため、先行して避難情報を発令する区域
※避難情報の発令に伴い、高潮の避難所を開設します。

その他の高潮浸水想定区域 (国道43号以北)

高潮による被害が発生する可能性が、より高まった場合に避難情報を発令する区域
※その際は、武庫川からの洪水の危険性も高まっているため、**洪水の避難所 (南部地域武庫川) も開設**されます。

予想される潮位が最大規模に達しないと見込まれる場合でも、被害の発生が予測されるときは、適宜、発令する避難情報や区域等を決定します

想定し得る最大規模の高潮に備える避難の方法

自宅の状況から必要な避難行動を判定しましょう

何色がかかっていますか?	判定結果
10m	●自宅は堅固な建物ですか? いいえ × 滞在不可
3・4階浸水 (5m~10m未満)	
5m	●階数は? ○ 滞在可
	5階以上
4m	●自宅は堅固な建物ですか? いいえ × 滞在不可
	●階数は? ○ 滞在可
3m	●階数は? ○ 滞在可
	3階以上
2m	●階数は? ○ 滞在可
	2階以上
1m	●階数は? ○ 滞在可
	1階
0.5m	●階数は? ○ 滞在可
1階床下浸水 (0.5m未満)	○ 滞在可

※堅固な建物 = 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造など

あなたの判定結果に○をつけ、避難行動を覚えておきましょう。

●あなたの判定結果は?	●あなたの避難行動は?
<input type="radio"/> 滞在不可	<input type="radio"/> 無理に外に出ない
<input type="radio"/> 滞在可	命を守るために必ず早めの安全な場所への避難が必要です

高潮第一発令エリア

立ち退き避難先とタイミング

避難情報と必要な行動	避難レベル1	避難レベル2	避難レベル3	避難レベル4	避難レベル5
避難情報	早期注意情報	高潮注意情報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
必要な行動	最新の情報に注意	避難行動を確認	危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険直ちに安全確保
立ち退きの行動	安全の確保ができる親戚・知人宅等へ				
立ち退き避難先	開設されている避難所へ				
	津波避難ビル等の上階へ				

このマップは以下の浸水想定区域を示したものです
兵庫県大阪湾沿岸 (尼崎市、西宮市、芦屋市沿岸)
高潮浸水想定区域 (想定最大規模)
[作成主体] 兵庫県

台風が近づいて 風や雨が強くなる前に安全な場所へ避難しましょう

想定し得る最大規模の台風による高潮について 発生確率が500~4000年に1度の台風

想定条件

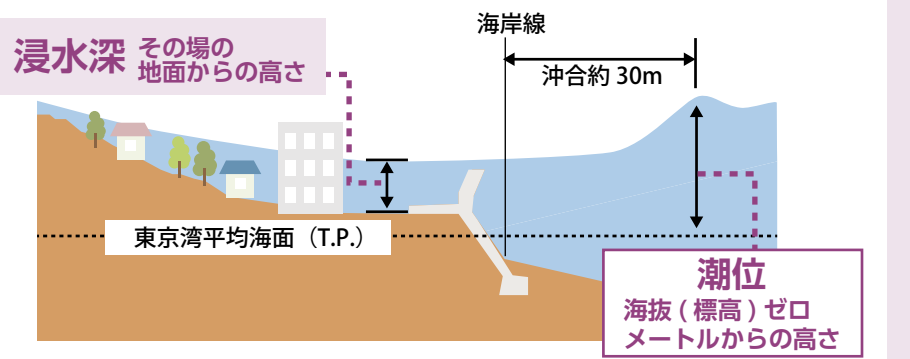
- 台風規模：日本に上陸した既往最大規模の台風である室戸台風と同等の910hPaとし、上陸しても勢力を保ち続ける。
- 台風の種類：伊勢湾台風と同等の73km/hとし一定のまま移動
- 海岸保全施設や河川管理施設である堤防等は最悪の事態を想定し、潮位(水位)や波が一定に達した段階で破壊する。
- 高潮による海岸からの浸水と同時に、河川からの洪水を考慮
- 基準潮位：台風期の期望平均満潮位 (T.P.+0.9m) に異常潮位 (+0.143m) を加えた T.P.+1.043m とする。

台風の中心気圧 **910hPa**
室戸台風規模
※上陸しても勢力を保ち続ける

西宮市最大潮位 **5.5m**
※海岸線から沖合30m地点

潮位と浸水深は違います

潮位は、浸水深とは異なります。潮位は沖合での海拔(標高)ゼロメートルからの高さで、浸水深とは地面から浸水面への高さです。

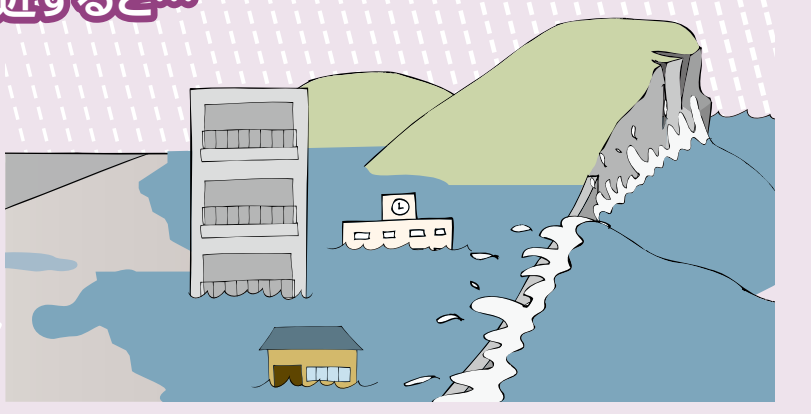


左のマップでは想定される最大の浸水深を示しています。

高潮 台風や発達した低気圧が接近すると...

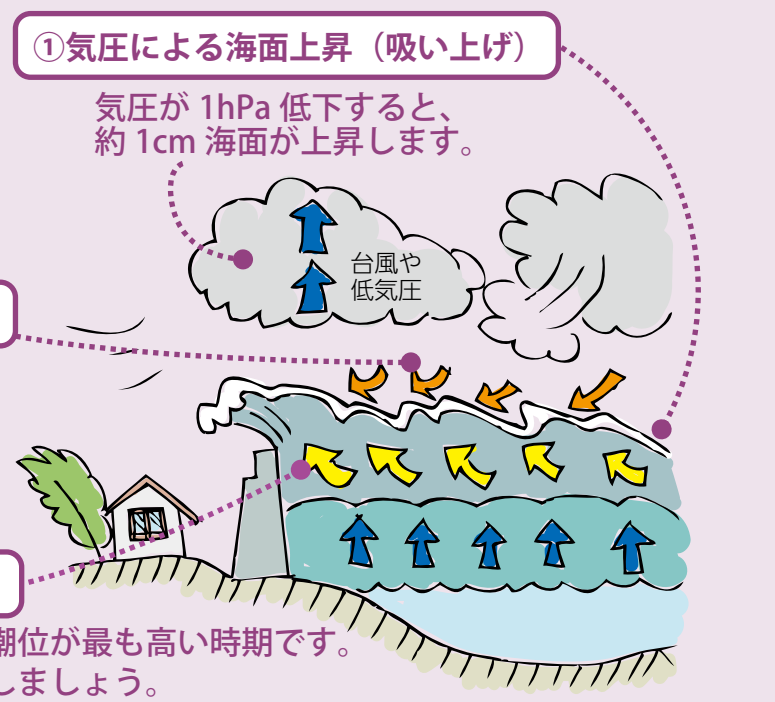
海水面が上昇し、海沿いに押し寄せて、浸水することがあります。

種々の要因により高潮の規模は大きく変動します。
※台風は、夏から秋ごろにかけて日本に接近しますので、その時期は、最新の台風情報や市から発令される避難情報に注意してください。



高潮の発生のしくみ

- 高潮は、以下の3つの要因で発生します。
- ① 気圧低下による海面の上昇 (吸い上げ)
 - ② 風で押し寄せる波 (吹き寄せ)
 - ③ 満潮時間との重なり



暴風・強風にも注意!

風の強さが避難に与える影響

風の強さ (予報用語)	平均風速 (毎秒)	影響
やや強い風	10m~15m 未満	風に向かって歩かなくなり、暴風や強風が伴うことが考えられます。風の強さが避難行動に影響します。風や雨が強まる前に避難しましょう。
強い風	15m~20m 未満	風に向かって歩けなくなり、転倒する人もいる。高速道路での運転が困難。
非常に強い風	20m~25m 未満	何かにつかまっていけないと立ってられない。飛来物によって負傷のおそれがある。通常の速度で運転するのが困難になる。
非常に強い風	25m~30m 未満	屋外での行動は極めて危険。走行中のトラックが横転する。
猛烈な風	30m 以上	多くの樹木が倒れる。ブロック塀や住家が倒壊を始める。

余裕を持って 早めに避難しましょう

台風の接近や、大雨が降り続く予想の場合は、暗くなる前に早めに避難しましょう。

